

初めに、ことばがあった

ヨハネの福音書 1:1～5



in 初め was 冠詞 ことば
エン アルケーイ エーン ホ ログス

Ἐν ἀρχῇ ἦν ὁ Λόγος,

and 冠詞 ことば was with 冠詞 神
カイ ホ ログス エーン プロス トン テオン

καὶ ὁ Λόγος ἦν πρὸς τὸν Θεόν,

and 神 was 冠詞 ことば
カイ テオス エーン ホ ログス

καὶ Θεὸς ἦν ὁ Λόγος.

1:1 初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

1:2 この方は、初めに神とともにおられた。

1:3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

1:4 この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。

1:5 光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。

現存する最初の日本語訳聖書

聖書を日本語に訳したギュツラフは、日本人漂流者の助けを借りて、「**ログス**」を、「**カシコイモノ**」と訳した。(参考 三浦綾子著 海嶺)



カール・ギュツラフ (独)
(1803～51)

現存する最初の日本語に翻訳された聖書は、ギュツラフの**ヨハネ福音書**と**ヨハネの手紙1、2、3**である。

ヨハネ福音書は、1835（天保6）年～36年にかけて、**3人の日本人漂流船員**（岩吉、久吉、音吉）の助けを借りて、**マカオ**で翻訳され、**1837（天保8）年、シンガポールで木版刷りで印刷**されたものである。**1,690冊**印刷されたと伝えられているが、現在、世界には16冊しか残っていない。「**ハジマリニカシコイモノゴザル**」で始まる**全文カタカナ**で、翻訳の苦労が偲ばれる。



1832年、米や陶器を積んだ宝順丸が江戸に向けて鳥羽から出航（13名）、漂流、アメリカ西海岸に漂着

カシコイモノ

ギュツラフが岩吉、久吉、音吉の助けで訳された「ヨハンネス、福音の伝え」の1章1節

【ヨハンネス ノ ツタエ、ヨロコビ】

ハジマリニ カシコイモノ ゴザル。 コノカシコイモノ ゴクラク トモニ ゴザル。コノカシコイモノ ゴクラク。

こういう面白い訳であった。「ことば」を「カシコイモノ」、神を「ゴクラク」と訳した。

「アルケーイ」「ログス」

- ・「**アルケーイ**」の意味は、**万物の始源・宇宙の根源的原理**。
- ・「**アルケーイはログスなり**」
＝「根源的原理は、キリスト（神の言葉）である。」
- ・「**ログス**」の意味には、確かに「言葉」もあるが、**真実、真理、論理、理性、概念、調和・統一のある法則**など様々な意味も示す。
- ・……**キリスト！キリストは神！**つまり、**神こそが全ての原則ということ！**

ヨハネ伝 1:1~3 に見る 5つのキリストのご性質

1. キリストは神の意志を表す

1:1 初めに、**ことば**があった。**ことば**は神とともにあった。**ことば**は神であった。

第一に、キリストは、神の意志を表する預言者です。人間は、ロゴスであるキリストにあって、神と出会うことができます。神のことばを頭の中だけで理解するのではなく、イエスキリストと交わることによって、神を体験的に知ることができるのです。

2. キリストの先在性、永遠性

1:1 **初めに**、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

1:2 この方は、**初めに**神とともにおられた。

第二に、「初めに」とは、キリストの先在性、永遠性を意味する表現です。キリストは世界ができる前から永遠に存在しておられる方です。

ヨハネ8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。**アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです。**」

3. 父なる神との交わり

第三に、父なる神とキリストとは、別個の位格（他者に対して区別される主体）であり、その父なる神とキリストとの間に位格間の交わりがありました。

1:1 初めに、ことばがあった。**ことばは神とともにあった。**ことばは神であった。

1:2 この方は、**初めに**神とともに**おられた。**

1 節と 2 節の「ともに」という言葉が、三位一体間の親しい交わりをあらわします。三位一体間の交わりが世界が存在する前からあったのです。

父なる神と子なる神キリストとの親しい交わりがあって、はじめて、神と人との親しい交わりに発展し、さらに私たち同志の親しい交わりに発展するのです。神がともにいてくださる、という体験は、三位一体間の「共に」ある交わりから派生してきたものです。

4. キリストの神性

1:1 **ことばは神であった。**

第四に、キリストは本質において、神と等しいという意味です。本来は従属的な関係ではなく、対等の関係を表すことばです。

5. キリストは創造者

1:3 **すべてのものは、この方によって造られた。**造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

第五に、キリストは創造者であって被造物ではありません。キリストは直接の創造者であります。

ここで大切なことは、父なる神は、キリストによってキリストのためにすべてのものが創造されたことです。

なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。（コロサイ1:16-17）

神の本質の完全な現われ

神は、むかし先祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。…御子は神の栄光の輝き、また**神の本質の完全な現われ**です。（ヘブル1:1~3）